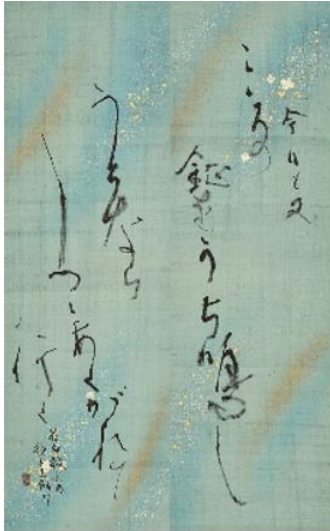


■出品書家 (五十音順・敬称略)

新井 光風	池田 桂鳳	井茂 圭洞	石飛 博光	尾崎 蒼石
角元 正燦	杭迫 柏樹	黒田 賢一	下谷 洋子	高木 聖雨
高木 厚人	樽本 樹邨	土橋 靖子	仲川 恭司	中村 伸夫
星 弘道	真神 魏堂	吉川 蕉仙	吉川 美恵子	綿引 滔天

■前回展 (第 63 回展) の出品作の一部



井茂 圭洞 先生
(第63回現代書道二十人展出品作)



新井 光風 先生
(第63回現代書道二十人展出品作)



樽本 樹邨 先生
(第63回現代書道二十人展出品作)



土橋 靖子 先生
(第63回現代書道二十人展出品作)



石飛 博光 先生
(第63回現代書道二十人展出品作)

■ 日本橋会場

- ・会期/会場 : 2020年1月2日(木)~6日(月) 日本橋高島屋 S.C.本館 8階ホール
- ・入場時間 : 午前10時30分~午後7時30分(午後8時閉場)
 - ※1月2日(木)は午前10時~午後6時30分まで(午後7時閉場)
 - ※最終日は午前10時30分~午後5時30分まで(午後6時閉場)

■大阪会場

- ・会期/会場：2020年1月9日（木）～14日（火） 大阪高島屋7階グランドホール
- ・入場時間：午前10時～午後7時30分（午後8時閉場）
 - ※1月10日（金）・11日（土）は午後8時まで（午後8時30分閉場）
 - ※最終日は午後4時30分まで（午後5時閉場）

■ギャラリートークスケジュール

- ・日本橋会場（6階美術画廊）

1月3日（金）11:00 新井 光風 先生/13:00 角元 正燦 先生/15:00 中村 伸夫 先生
1月4日（土）11:00 土橋 靖子 先生/13:00 高木 聖雨 先生/15:00 仲川 恭司 先生
1月5日（日）11:00 綿引 滔天 先生/13:00 星 弘道 先生/15:00 高木 厚人 先生
1月6日（月）11:00 下谷 洋子 先生/13:00 石飛 博光 先生

- ・大阪会場

1月9日（木）14:00 井茂 圭洞 先生/15:00 土橋 靖子 先生
1月10日（金）11:00 角元 正燦 先生/14:00 池田 桂鳳 先生/15:00 尾崎 蒼石 先生
1月11日（土）11:00 杭迫 柏樹 先生/14:00 真神 巍堂 先生/15:00 高木 聖雨 先生
1月12日（日）11:00 杭迫 柏樹 先生/14:00 真神 巍堂 先生/15:00 高木 厚人 先生
1月13日（月）11:00 吉川 蕉仙 先生/14:00 黒田 賢一 先生/15:00 吉川 美恵子先生
1月14日（火）11:00 仲川 恭司 先生/14:00 尾崎 蒼石 先生

■主 催：朝日新聞社

■入 場 料：一般 700 円／高校生・大学生 500 円／中学生以下 無料

■URL：<https://www.takashimaya.co.jp/store/special/event/gendaishodo.html>

<現代書道二十人展について>

「現代書道二十人展」は日本が戦後の混乱からぬけだし、復興をとげていた昭和 32 年（1957 年）に発足しました。各種の団体が草創され、書の裾野が広がる一方で伝統派と前衛派が論争するなど、書の価値観が大きく揺らいでいた時代の荒波の中、スタートしました。当時、公募展に比べて画期的であったのは、書家の数を 20 人に絞り、一人あたり数メートルの壁面を提供する以外に制約を設けなかった点です。書家は自らの書風を独創的に発表する場となりました。そして、書の最高水準を示す展覧会のひとつとして、のちの文化勲章受章者、文化功労者を含む昭和、平成の書道界に大きな功績を残した巨匠が名前を連ねてきました。